



令和7年度日本大学推薦入試 推薦基準等説明会報告



5月8日(水)に、日大推薦入試の基準等説明会が開催されました。その内容の一部をお伝えします。今年度は3つの学部の説明があり、概要は以下の通りとなっています。

【理工学部】

付属推薦ではすべての方式で口頭試問が課されます。すべての学科で実施しますので、普段から高校での授業を大切にして学力を身につけておきましょう。

【医学部】

基礎学力選抜のみ実施されます。出願要件では、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の中から2科目以上の履修が必要となっています。約30分間の面接が行われます。

【歯学部】

基礎学力選抜では、適性試験(英・国・数・一般常識)も実施。

その他の学部については、5月中旬から6月中旬にかけて実施される予定です。この説明会では、各学部の一般的な説明もありますが、特に付属生にとって重要な推薦の基準に関する説明が行われることがあります。基準は毎年見直され、変更される場合もありますので、教員も特に注視しているポイントです。今後実施される各学部からの説明は、高3を中心に保護者会や学年集会、面談等で周知する予定ですので、進路指導部からの情報にも注意をしましょう。

基礎学力到達度テスト高3・9月

9月26日(木)実施の基礎学(高3)の範囲を公開いたします。高3・9月のみ、数学は文系・理系に分かれます。また、地歴公民と理科があります。範囲をよく確認して最後の基礎学に向かって準備しましょう。

教科	科目・試験範囲等
国語	「現代の国語, 言語文化」 ※近代以降の文章(論理的な文章, 文学的な文章)及び古典(古文, 漢文)とする。
数学(文系)	「数学Ⅰの全範囲, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学Ⅱの全範囲は必須とし, 数学B(数列, 統計的な推測), 数学C(ベクトル)の3単元から2単元を選択」
数学(理系)	「数学Ⅰの全範囲, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学Ⅱの全範囲, 数学B(数列), 数学Ⅲ(極限), 数学C(ベクトル)は必須とし, 数学Ⅲ(微分法・微分法の応用), 数学B(統計的な推測), 数学C(平面上の曲線と複素数平面)の3単元から1単元を選択」
外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 論理・表現Ⅰ」(リスニングテストを含む)
地理歴史・公民(文系)	「地理探究」全範囲 「日本史探究」『詳説 日本史』第10章「幕藩体制の動揺」まで 「世界史探究」『詳説 世界史』第1章「1 文明の誕生」から、第12章「4 中南米諸国の独立」まで 「公共, 倫理, 政治・経済」試験科目を「公共」と「倫理」若しくは「公共」と「政治・経済」からの選択とする。 「公共」国際政治, 国際経済, 持続可能な社会づくりの主体となる私たちを除く 「倫理」現代の諸課題を倫理を除く 「政治・経済」現代日本における諸課題の探究, 国際社会の諸課題の探究を除き, 国際政治と国際経済の範囲から1題を選択
理科(理系)	「物理基礎全範囲, 物理(電流と磁界, 電磁誘導と電磁波, 原子を除く), 「化学基礎全範囲, 化学(有機化合物の性質, 化学が果たす役割を除く) ※高分子化合物も除く, 「生物基礎全範囲, 生物(生物の環境応答, 生態と環境を除く), から1科目選択

付属特別選抜とは

今号では「付属特別選抜」についてご紹介します。実は「付属特別選抜」には2種類あるということも、みなさんはご存じですか。

①豊山枠

- 令和6年度入試では、法・文理・経済・商・国際関係・危機管理・理工・生産工・工・生物資源科・短大(三島)で募集がありました。 ※全ての学科ではありません
- 豊山生のみを対象とした募集です。校内選考を行い、出願者が決定してからの出願となります。

②付属枠(通称「全体枠」)

- 令和6年度入試では、文理・芸術・スポーツ科・松戸歯で募集がありました。 ※全ての学科ではありません
- 全付属生を対象に、基準を満たした者が受験します。

推薦要件は、評定平均値・履修科目・検定等の資格・競技実績など様々です。選考方法は、面接・小論文・実技などがあります。推薦要件や選考方法は、学科により異なります。

①②とも、例年A4用紙で約20行の「志望理由書」を提出することになります。受験勉強が佳境を迎える前に、つまり今のうちに、希望する学部学科についてしっかりと調べ、その分野についての知識を身につけておきましょう。

総合型選抜とは

大学へ進学する際、大別すると『総合型選抜』『学校推薦型選抜』『一般選抜』『その他の選抜方式』に分かれます。ここでは『総合型選抜』について、紹介します。

『総合型選抜』

大学の求める学生像(アドミッションポリシー)と受験生の人物像が「出願書類(志望理由書・活動報告書・調査書)」「面接・小論文」「実技試験・プレゼンテーション」などを通じて、「能力」「目的意識」が一致しているかを総合的に判断して合否を決める方式です。

豊山生が総合型選抜を活用する例として多いのは、「日本大学芸術学部」や「他大学」への進学を希望している場合です。実際に日本大学芸術学部などに総合型選抜を通過して進学した先輩もいます。では、どのような準備をすればよいのでしょうか。

例えば「日本大学芸術学部」の場合、「書類選考(エントリーシート)→通過→専門試験→合否判定」となります。まずエントリーシートには「自己分析」と「学科カリキュラムの分析」が必要です。他大学の場合もそうですが、自身の志望する大学について調べることは、最低限必要です。加えて、「総合型選抜」で募集しているのは「その大学・学部・学科で何を学びたいと考え、その知識を使って将来どのように社会に貢献したいか」という**明確なビジョンをもっている学生**です。そのため、「資格・学外活動・ボランティア活動・国際交流」など、「高校3年間で取り組んだこと」が必要になります。つまり、高3の半年間の付け焼刃では太刀打ちできない場合もあります。高校1・2年生は、今からできる行動を起こしておくことをお勧めします。

エントリー通過後は、専門試験や論述・口頭試問などで選考されます。早い段階で志望校を見定め、必要とされる能力を確認しておくことで受験方式の幅が広がっていきます。

日大は芸術学部以外も総合型選抜で受験できる学部がありますので、興味のある生徒はぜひ調べてみてください。

高1進路講演会報告

4月11日(木)に実施した職業・進路適性診断テストに対する振り返りとして、5月24日(金)にライセンスアカデミー進路情報研究センター センター長の平川健様にアリーナにて講演を頂きました。講演ではテストの目的やねらい、結果帳票の見方、高校卒業後の進路、そして学力を定着させるためにはどのようにしていくべきなのかということをお話して頂きました。



(1) 職業・進路適性診断テストの目的

- ① 自己理解を深め、職業適性・進学適正を知り、進路を実現できるようにする
- ② 自分の可能性を発見する
- ③ 職業・学びを知る



(2) 職業・進路適性診断テストの結果

- ① 職業に対する興味・関心傾向
- ② 志向・行動習性から見る職業要素の傾向

(3) 高校卒業後の進路

大学で何をどのように学ぶのかを考え、学部・学科を理解することが大切です。そして、学力を構築するためには何が一番大切なのかも理解しましょう。

「職業・学びガイド」という冊子も配布されており、この冊子には各職業に必要な資格や進路実現までの主なルートが記載されています。さらには、それぞれの学問分野からどのような職業に結び付くかということも掲載されています。

適性検査の結果通りに仕事に就く必要はありませんが、間違いなく考えるきっかけは与えてくれるものです。今後は、大学のホームページを見たり、オープンキャンパスに行くなど、実際に行動に移してください。

特進他大学説明会

6月21日(金)の5・6・7時間目に、特進クラスを対象にした他大学説明会を実施します。今年度の参加校は未確定ではありますが、現時点で確定している大学は以下になります。

上智大学、明治大学、中央大学、法政大学
東京理科大学、成城大学、神田外語大学、北里大学
明治薬科大学、東京薬科大学、防衛大学校
・防衛医科大学校 などです

また、日本外国語専門学校にも参加していただき、海外留学についての説明を担当していただきます。各大学の担当者から直接説明を聞けるのは、またとない機会ですので、上手に活用しましょう。また、各々質問を用意しておくことも大切です。各大学のパンフレットがもらえるだけでも、大きな利点ですので、前向きな気持ちで参加しましょう。

当日のスケジュール

- 13:00～13:10 生徒移動・準備
- 13:15～13:55 説明会① (特進クラス)
- 14:10～14:50 説明会② (特進クラス)
- 15:10～15:50 説明会③・個別相談会 (特進・進学・体育)

- ※各説明会終了後、簡単なアンケートがあります。
- ※7時間目を利用して、進学・体育コースも参加できます。

参加校が確定次第、希望調査を実施します。調整後、当日の詳細と聴講する学校をお伝えします。

日大オープンキャンパス情報



今年もオープンキャンパスの季節がやってまいります。志望校を決める上で実際にキャンパスに足を運ぶことはとても大切です。高1・2では例年、オープンキャンパスに参加して学校についてわかったことをレポートにまとめるという課題が夏休みに出されます。興味のある学部の予定を把握して参加するようにしてください。高2・3は現時点で志望校となっている学部のオープンキャンパスには必ず参加してください。実際に大学の雰囲気を味わうことによって、「ここで学びたい! そのために勉強を頑張る!!」という動機づけになることも「学びたいことと違う」と気づくことで進路変更を考えることもできます。さらに、似た学部のオープンキャンパスに行くことにより、志望校との違いを見つけることも志望理由書を書く上でとても参考になります。ぜひ足を運んでみてください。

以下は今年度実施予定の日本大学各学部オープンキャンパス日程一覧です。事前予約が必要となっている学部もありますので、各学部のホームページ等を確認してください。

学部	日程
法	11/3(日) ※7/28(日)進学相談会
文理	7/14(日)
経済	7/28(日)
商	7/27(土)・7/28(日)
芸術	6/30(日)・8/4(日)
危機管理	6/16(日)・7/21(日)
スポーツ科	7/21(日)・8/25(日)
国際関係	6/22(土)・7/13(土)・7/14(日)・7/27(土)
生物資源科	8/3(土)・8/4(日)
医	8/3(土)
薬	8/4(日)・8/18(日)
理工	6/23(日)<駿河台>・8/3(土)・8/4(日)<船橋>
生産工	7/14(日)・8/4(日)
工	8/3(土)・8/4(日)
歯	6/16(日)・7/21(日)・8/18(日)
松戸歯	6/2(日)・7/21(日)・8/10(土)

6月の進路行事

- ・6月8日(土) 高3保護者会(高3保護者)
- ・6月21日(金) 特進他大学説明会(高特進:午後)



6月8日(土)は高3保護者会です。今後の付属推薦に関するスケジュールや注意点の説明が主になります。保護者に対する説明会ではありますが、生徒本人も当然理解しておく必要があります。生徒の皆さんへの説明は、6月12日(水)のホームルームで担任から行われます。全てが自分のことですので、しっかりと理解して計画を立てていきましょう。

6月21日(金)の午後に、特進クラス対象他大学説明会が行われます。7時間目の時間帯は他コースの生徒も希望があれば参加可能です。今回も、GMARCHをはじめとした難関大学や、防衛大学校などもご参加いただきます。将来の可能性はどこで見つかるかわかりません。積極的に参加してみましょう!

5月から始まっている日大・他大学でのオープンキャンパスには積極的に参加しましょう。特に6月・7月は開催日が多くなります。高3にとっては志望校を絞る最後の材料として、高1・2にとっては自分の興味のある分野が学べるかを見る機会として重要です。早目にチェックをしてください。



次回7月号は、6月末に発行予定です

